

## 部活動地域移行推進計画《佐野モデル》(案)に対する意見募集の結果について

### 1 パブリック・コメントの概況

#### (1) 意見募集期間

令和6年1月4日(木)～令和6年2月5日(月) 33日間

#### (2) 意見提出者等

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	団体	計
		1					1

#### (3) 提出方法の内訳

郵送	ファックス	Eメール	その他	計
		1		1

### 2 意見の概要と市の考え方

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	指導者の確保は非常に難しいと思う。 具体的な方法は記載されていないが、 どのように考えているか。	<p>指導者の確保については、地域移行の運営を委託する団体をお願いしていきます。人材確保のため本市としても支援していきますが、想定しているのは、市内の総合型スポーツクラブやスポーツ協会・文化協会等で、ご自身がその種目に携わっている方々です。</p> <p>また、現在、各中学校で部活動指導に携わっていただいている地域の方々も考えております。(部活動指導員や外部指導者)</p> <p>さらに、希望する小学校・中学校の教職員の兼職兼業を認め、地域クラブ活動指導者として指導に当たれるように体制を整えていく予定です。</p> <p>他には、県に人材バンクが設置されましたので、合わせてそちらとも連携を図っていきます。</p>

2	<p>指導方法に関して、スポーツ科学に基づく指導を行うなど魅力ある指導者に教わることは活性化に繋がると思うので、指導者誘致のための予算を確保してほしい。</p>	<p>本市の進める休日の部活動の地域移行は、学校と地域との連携・協働により生徒の活動の場として新たな「地域クラブ活動」を整備して行くことを目指しており、指導者もできるだけ地域の方々をお願いしようと考えております。指導者は、担当する種目の専門性はもちろんのこと、心身の発達の途上にある生徒を指導する際には、発達の段階に応じた適切で効果的な指導を行うために必要な知識や考え方、生徒理解やトラブル対応等の知見を身に付けていくことが大切です。</p> <p>そのため研修会等を開催して、指導者のさらなる指導力向上に努めていきます。</p>
3	<p>マイナースポーツを推すよりは満遍なく部活動の機会を増やして欲しい。</p>	<p>本市の進める地域移行は、現在、各学校に設置しているすべての部活動（種目）を対象としており、これまでと同様に生徒の活動の機会を確保していきます。</p> <p>当面は休日においてですが、今後、地域移行が進み、平日の部活動も学校から切り離されると、中学生のスポーツ・文化活動への参加の仕方や実施する種目も多様化してくると思われれます。</p>